ブックトーク　４年生

単元　　私たちの生活とゴミ

時間　　２０分

　ゴミの学習をやっていると思います。そして、ゴミ処分場や、焼却場に行きましたね。そこでのゴミの多さにびっくりしたでしょう。

　ゴミを減らそうと、リサイクルできる物をリサイクルしたり、分別してすてているでしょう。

　努力してもどうしても出来てしまうゴミのことを本を紹介しながら話しましょう。

|  |  |
| --- | --- |
| 紹介する本 | ポイントになる言葉、ブックトークの展開 |
| 『におい山脈』  椋鳩十／著　梶山俊夫／絵  あすなろ書房  **私たちはどのくらい地球を汚しているのかな？**  『ごみから地球を考える』  八太昭道／著  岩波書店  『おしりをふく話』たくさんのふしぎ  斎藤たま／文　なかのひろたか／絵  福音館書店  『トイレのおかげ』たくさんのふしぎ  森枝雄司/写真/文　はらさんぺい/絵  福音館書店 | 人間は、一番嫌いな物はゴミです。  人間が自分の周りにゴミがなければいいと思って捨てていったのですが、地球がどんどん汚れて動物たちや自然からの仕返しが来ました。  動物はゴミを集めて、山を築きました。   * １４ページ   ゴミから地球を考えてみると・・・   * 私たちがいることがゴミを作っているのです。 * トイレに行きます。（ゴミをだします。）   トイレで行った、排泄物も、拭いた紙も流して家の中はさっぱりします。→見えなくします。  昔のトイレはどうだったでしょう？  ３８ｐ  ２６ｐ  ２０ｐ |
| 『死を食べる』アニマルアイズ  宮崎学／著  偕成社    『ゴミにすむ魚たち』  大塚幸彦/著  講談社 | * 道路を渡ろうとしてひかれてしまった動物たち。道路を渡って食べるものを探しに行こうとしたのかも。 * 人間の勝手で、苦しんでいる動物。   自分の前から無くなればいいという人間の勝手で、海に捨てられた缶、たばこのパッケージ  魚たちはそこで暮らしている。  ところが、その魚を私たちは食べていますね。 |
| におい山脈たくさんのふしぎ無題.pngゴミ.png | |

